

兵庫県新温泉町で 2021 年に見られた昆虫類の記録

宇野宏樹¹⁾

1. はじめに

筆者は 2021 年に兵庫県版レッドデータブックの昆虫類の改訂にあたっての調査に参加した。その際、新温泉町の昆虫をライトトラップで調査する機会があった。そのライトトラップに飛来した昆虫類の写真を撮影しているので、そのリストを本記事にて報告しておきたい。

2. 調査の日時及び調査した環境の情報など

新温泉町で 2021 年に撮影・採集した昆虫類について報告しておきたい。なお、新温泉町において筆者が参加させていただいた調査は 2 回である。調査日及び調査場所を以下に示しておきたい。

1 回目の調査：2021 年 7 月 10 日－2021 年 7 月 11 日，
兵庫県美方郡新温泉町芦屋城山園地付近。

2 回目の調査：2021 年 7 月 31 日－2021 年 8 月 1 日，
兵庫県美方郡新温泉町七釜付近。

芦屋城山園地でライトトラップを行った場所の環境は、海辺付近の高台であり、七釜でライトトラップを行った場所の環境は湿地であった。

本項で報告する昆虫の記録について、撮影者・確認者や採集者はすべて筆者である。昆虫類の撮影は、デジタルカメラ及び携帯電話を用いて行った。なお、本報文において、セミの仲間の掲載順序は新訂原色昆虫大図鑑 III に従い、カメムシ類の掲載順序は日本原色カメムシ図鑑第 1 巻にそれぞれ基本的に従った。また、甲虫類の掲載順序は基本的に原色日本甲虫図鑑 II-IV に従い、蛾類の掲載順序は、基本的に日本産蛾類標準図鑑 I-IV に従った。

なお、採集地・採集日時はリスト中では省略し、1 回目の調査で見られた昆虫には¹⁾、2 回目の調査で見られた昆虫には²⁾とそれぞれ印を付記した。リスト中の昆虫について、確認した種の個体数はすべて 1 頭 (1ex.) である。同定に用いた写真及び標本は、すべて筆者が保管している。

3. 確認された昆虫類のリスト

新温泉町で 2021 年に確認した昆虫類について以下のように報告しておきたい。

・半翅目

セミ科

アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata*²⁾

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*^{1), 2)}

ヒグラシ *Tanna japonensis*²⁾

オオホシカメムシ科

オオホシカメムシ *Physopelta gutta*²⁾

カメムシ科

クサギカメムシ *Halyomorpha halys*²⁾

シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis*²⁾

ツヤアオカメムシ *Glaucias subpunctatus*²⁾

・脈翅目

ヘビトンボ科

ヘビトンボ *Protohermes grandis*²⁾

・鞘翅目

ゲンゴロウ科

コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus*²⁾

シデムシ科

クロシデムシ *Nicrophorus concolor*²⁾

クワガタムシ科

ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus*²⁾

コクワガタ *Dorcus rectus*²⁾

コガネムシ科

コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus*²⁾

¹⁾ Hiroki UNO 大阪府豊中市

ドウガネブイブイ *Anomala cuprea* ²⁾

カブトムシ *Trypoxylus dichotomus* ^{1), 2)}

コメツキムシ科

フタモンウバタマコメツキ *Cryptalaus larvatus* ²⁾ (図 1)

ライトトラップに飛来した個体を撮影した。京都府では要注目種に指定されているため、隣接する県の近年の情報の 1 例として報告しておきたい。なお、筆者は神戸市において、2021 年と 2023 年に本種を撮影しているので、参考記録として併せて報告しておきたい。

【参考記録】1ex., 兵庫県神戸市北区道場町生野, 2021 年 7 月 3 日 - 2021 年 7 月 4 日, 筆者撮影; 1ex. (死骸), 兵庫県神戸市北区山田町, 2023 年 9 月 22 日, 筆者撮影。

ゴミムシダマシ科

ヒゲブトハムシダマシ *Luprops orientalis* ²⁾

ツチハンミョウ科

ツマグロキゲンセイ *Zonitoschema cothurnata* ²⁾ (図 2)

ライトトラップに飛来した個体を確認した。筆者は宝塚市から本種を記録したが (宇野, 2021), 兵庫県における本種の公式の記録は多くないと思われる。

カミキリムシ科

ミヤマカミキリ *Neocerambyx raddei* ¹⁾

クワカミキリ *Apriona japonica* ¹⁾

・鱗翅目

タテハチョウ科

コムラサキ *Apatura metis* ²⁾



図 1. 新温泉町産フタモンウバタマコメツキ

カギバガ科

ヒメハイイロカギバ *Pseudalbara parvula* ²⁾

ウスギヌカギバ *Macroclix mysticata* ²⁾

スカシカギバ *Macrauzata maxima* ²⁾

アカウラカギバ *Hypsomadius insignis* ²⁾

モントガリバ *Thyatira batis* ²⁾

シャクガ科

バラシロエダシャク *Lomographa temerata* ²⁾

ゴマダラシロエダシャク *Antipercnia albinigrata* ²⁾

オオゴマダラエダシャク *Parapercnia giraffata* ²⁾

リンゴツノエダシャク *Phthonosema tendinosarium* ²⁾

ヨツメエダシャク *Ophthalmitis albosignaria* ²⁾

シロスジオオエダシャク *Xandrames latiferaria* ²⁾

ハイイロオオエダシャク *Biston regalis* ²⁾

キオビゴマダラエダシャク *Biston panterinaria* ²⁾

ウスクモエダシャク *Menophra senilis* ²⁾

クワエダシャク *Phthonandria atrilineata* ²⁾

オオマエクトビエダシャク *Nothomiza oxygoniodes* ²⁾

ナカキエダシャク *Plagodis dolabraria* ²⁾

オオアヤシャク *Pachista superans* ²⁾

ウスアオシャク *Dindica virescens* ²⁾

ヒメシロフアオシャク *Eucyclodes infractus* ²⁾

ヘリジロヨツメアオシャク *Comibaena amoenaria* ²⁾

コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria* ²⁾

カイコガ科

クワコ *Bombyx mandarina* ²⁾

ヤママユガ科

ヤママユ *Antheraea yamamai* ²⁾



図 2. 新温泉町産ツマグロキゲンセイ



図 3. 新温泉町産モンソハスズメ



図 4. 新温泉町産クロモンドクガ

オオミズアオ *Actias aliena*²⁾

スズメガ科

モンソハスズメ *Ambulyx schauffelbergeri*²⁾ (図 3)

ホソハスズメ *Ambulyx ochracea*²⁾

トビイロスズメ *Clanis bilineata*²⁾

モモスズメ *Marumba gaschkewitschii*^{1), 2)}

クチハスズメ *Marumba sperchius*²⁾

ウンモンズズメ *Callambulyx tatarinovii*²⁾

エゾスズメ *Phyllosphingia dissimilis*²⁾

ハネナガブドウズメ *Acosmeryx naga*²⁾

ブドウズメ *Acosmeryx castanea*²⁾

ベニスズメ *Deilephila elpenor*²⁾

コスズメ *Theretra japonica*²⁾

シャチホコガ科

ツマアカシャチホコ *Clostera anachoreta*²⁾

セグロシャチホコ *Clostera anastomosis*²⁾

ギンシャチホコ *Harpyia umbrosa*²⁾

クロスジシャチホコ *Lophocosma sarantuja*²⁾

アオバシャチホコ *Zaranga permagna*²⁾

ギンモンシャチホコ *Spatalia dives*²⁾

ウスイロギンモンシャチホコ *Spatalia doerriesi*²⁾

ムラサキシャチホコ *Uropyia meticulodina*²⁾

ギンモンズズメモドキ *Tarsolepis japonica*²⁾

モンクロシャチホコ *Phalera flavescens*²⁾

ホソバネグロシャチホコ *Disparia variegata*²⁾

ホソバシャチホコ *Fentonia ocypte*²⁾

ヘリスジシャチホコ *Neopheosia fasciata*²⁾

ヤスジシャチホコ *Epodonta lineata*²⁾

クビワシャチホコ *Shaka atrovittatus*²⁾

オオエグリシャチホコ *Pterostoma gigantium*²⁾

ナカキシヤチホコ *Peridea gigantea*²⁾

ニトベシヤチホコ *Peridea aliena*²⁾

セダカシヤチホコ *Rabata cristata*²⁾

プライヤアオシヤチホコ *Syntypistis pryeri*²⁾

ドクガ科

リンゴドクガ *Calliteara pseudabietis*²⁾

ブウドクガ *Ilema eurydice*²⁾

ヒメシロモンドクガ *Orgyia thyellina*²⁾

ヤクシマドクガ *Orgyia triangularis*²⁾

クロモンドクガ *Pida niphonis*²⁾ (図 4)

ドクガ *Artaxa subflava*²⁾

モンシロドクガ *Sphrageidus similis*²⁾

ヒトリガ科

アカスジシロコケガ *Cyana hamata*²⁾

クロテンハイロコケガ *Eugoa grisea*²⁾

ゴマダラキコケガ *Stigmatophora leacrita*²⁾

ハガタベニコケガ *Barsine aberrans*²⁾

ベニヘリコケガ *Mitochrista miniata*²⁾

ヒメホシキコケガ *Lyclene dharmia*¹⁾

コブガ科

トビイロリンガ *Siglophora ferreilutea*²⁾

ナンキンキノカワガ *Gadirtha impingens*²⁾

ヤガ科

マエジロアツバ *Hypostrotia cinerea*²⁾

ヒメクルマコヤガ *Oruza divisa*²⁾

モンシロクルマコヤガ *Oruza glaucotorna*²⁾

ウスキコヤガ *Oruza brunnea*²⁾

マルシラホシアツバ *Edessena gentiusalis*²⁾



図 5. 新温泉町産キシタバ (異常型)



図 6. 新温泉町産ウスグロクチバ

オオシラホシアツバ *Edessena hamada* ²⁾

ハナオイアツバ *Cidaripura gladiata* ²⁾

オオトモエ *Erebus ephesperis* ²⁾

カキバトモエ *Hypopyra vespertilio* ²⁾

アカキリバ *Gonitis mesogona* ²⁾

コウンモンクチバ *Blasticorhinus ussuriensis* ^{1), 2)}

キシタバ *Catocala patala* (異常型) ¹⁾ (図 5)

後翅の黒斑の一部が黄色の鱗粉に置き換わった異常型であった。何らかの原因により、鱗粉の色を決める遺伝子に変異が起きた個体と思われる。日本産蛾類標準図鑑 II には、本種について「後翅の中央黒帯が消失する異常型が知られている」との記述があり、本個体もこのタイプの異常型かもしれない。

ジョナスキシタバ *Catocala jonasii* ¹⁾

ウスグロクチバ *Avitta puncta* ¹⁾ (図 6)

筆者は宝塚市から記録した(宇野, 2020)が、兵庫県の記録は意外と少ない。戸川(2019)は佐用郡で発見された本種について言及している。

ルリモンクチバ *Lacera procellosa* ²⁾

フタオビコヤガ *Naranga aenescens* ²⁾

コマルモンシロガ *Sphragifera biplaga* ²⁾

ゴマケンモン *Moma alpium* ²⁾

アミメケンモン *Lophonycta confusa* ²⁾

シロマダラヒメヨトウ *Iambia japonica* ²⁾

アヤナミツマキリヨトウ *Callopietria placodoides* ²⁾

シロスジキノコヨトウ *Stenoloba jankowskii* ²⁾

シロスジアオヨトウ *Trachea atriplicis* ²⁾

コモクメヨトウ *Actinotia intermediata* ²⁾

エゾチャイロヨトウ *Lacanobia splendens* ²⁾ (図 7)

神河町及び上郡町で記録がある(高橋, 2022)が、新温泉町の記録は少ないと思われる。沼沢地に依存するとされ、局地的な分布をするとされている種である(植田, 2009)。

フタスジヨトウ *Protomiselia bilinea* ²⁾

タマナヤガ *Agrotis ipsilon* ²⁾

セミヤドリガ科

セミヤドリガ *Epipomponia nawai* (幼虫) ²⁾



図 7. 新温泉町産エゾチャイロヨトウ

イラガ科

ナシイラガ *Narosoideus flavidorsalis* ²⁾

イラガ *Monema flavescens* ²⁾

メイガ科

ギンモンシマメイガ *Pyrallis regalis* ²⁾

ツトガ科

クロオビノメイガ *Pycnarmon pantherata* ^{1), 2)}

アヤナミノメイガ *Eurrhyarodes accessalis* ²⁾

シロモンノメイガ *Bocchoris inspersalis* ²⁾

シロヒトモンノメイガ *Analthes semitritalis* ²⁾

4. おわりに

調査に同行してくださった八木剛氏・安岡拓郎氏をはじめとしたこどもとむしの会の皆様、及び七釜での調査を許可してくださった土地の管理人様に厚くお礼申し上げます。また、フタモンウバタマコメツキの記録で触れた神戸市北区道場町の調査には、安達誠文氏に同行していただいた。安達氏にも、厚くお礼申し上げます。

参考文献

- 池田 大・阪上洸多, 2020. 兵庫県のスズメガ. きべりはむし, 43 (2): 26-45.
- 池田 大・阪上洸多, 2020. 兵庫県のスズメガ (Appendix). きべりはむし, 43 (2): Appendix.1-21.
- 石川 忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑 第3巻. 573pp. 株式会社全国農村教育協会.
- 植田義輔, 2009. 2004 年 5, 6, 7 月に砥峰高原で採集された蛾類. きべりはむし, 32 (1): 44 - 48.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 514pp. 保育社, 東京.
- 宇野宏樹, 2020. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 II. きべりはむし, 43(1): 18-28.
- 宇野宏樹, 2021. 宝塚市の緑地公園の昆虫相—2010 年～2020 年の昆虫の記録—. きべりはむし, 44(1):9-25.
- 岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 1. 352pp. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 2. 416pp. 学研教育出版, 東京.
- 京都府, 2015. 京都府自然環境目録 2015. フタモンウバタマコメツキ. <https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/bio/db/ins0332.html> (. 2023 年 9 閲覧).
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III). 500pp. 保育社, 東京.
- 阪上洸多・徳平拓朗・松尾隆人, 2017. 兵庫県カトカラ図鑑. きべりはむし, 39 (2): 25-36.
- 高橋弘樹, 2022. 2021 年～ 2022 年に西播磨地域で採集・撮影した注目すべき蛾類の記録. きべりはむし, 45 (2): 36-40
- 戸川元貴, 2019. 兵庫県佐用郡でナマリキリガを採集. きべりはむし, 42(2): 57.
- 那須義次・広渡俊哉・岸田泰則 (編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑 4. 552pp. 学研教育出版, 東京.
- 林 匡夫・森本 桂・木元新作, 1984. 原色日本甲虫図鑑 (IV). 438pp. 保育社, 東京.
- 平嶋義宏・森本 桂 (監修), 2008. 新訂原色昆虫大図鑑 III. トンボ目・カワゲラ目・バッタ目・カメムシ目・ハエ目・ハチ目. 654pp. 北隆館.
- 広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則 (編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑 3. 360pp. 学研教育出版, 東京.
- 八木 剛・中西明德・稲畑憲昭・杉野広一・植田義輔・勝又千寿代・木全俊明・古賀督尉・高島 昭・谷口登志夫・中濱春樹・福島秀毅・水野辰彦・森脇竹男・山崎敏雄・吉田 武, 2003. 砥峰高原の昆虫相—2002 年の昆虫調査から—(第一部). きべりはむし, 31(1):1-46.
- 安永智秀, 山下 泉, 川沢哲夫, 高井幹夫, 川村 満, 1993. 日本原色カメムシ図鑑第 1 巻. 全国農村教育協会.